

現地講座「嵯峨野・太秦の古墳をめぐる」

2023年10月28日

コース

大覚寺バス停【受付】 → 大覚寺古墳群（円山古墳・入道塚古墳・狐塚古墳）→ 甲塚古墳 → 垂箕山古墳（仲野親王陵古墳）→ 蛇塚古墳 → 広隆寺 → 大酒神社 → 蚕の社（木嶋坐天照御魂神社） → 太秦天神川駅【解散】

京都盆地北西部に位置する嵯峨野・太秦の地には、5世紀から多くの集落が形成されます。また、集落の成立と合わせ5世紀から7世紀にかけて、平地部に前方後円墳や円墳・方墳、山間部には小規模な円墳・方墳からなる群集墳が造営されます。これらの遺跡は『古事記』『日本書紀』に登場する秦氏とかかわりが深いと考えられています。

今回の現地講座は、大覚寺古墳群・甲塚古墳・蛇塚古墳から、さらに秦氏とゆかりの広隆寺・大酒神社・蚕の社（木嶋坐天照御魂神社）などの史跡をめぐる。

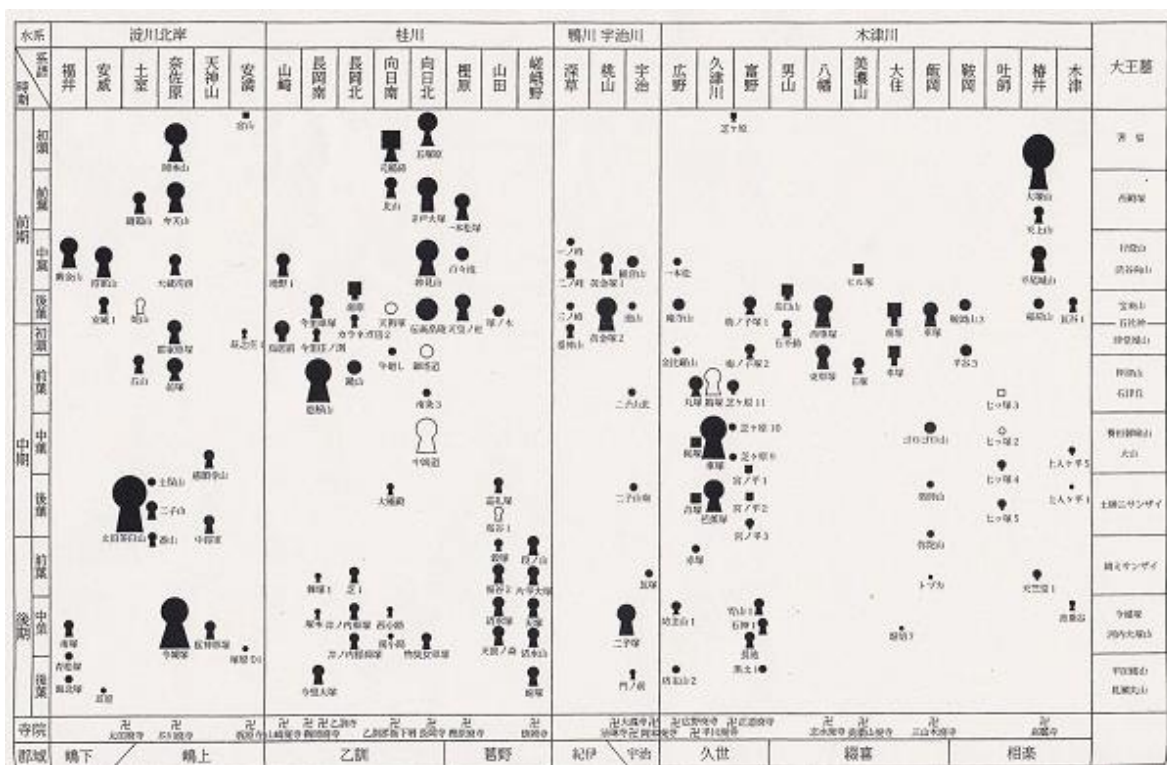


図1 山背地域周辺の古墳編年図

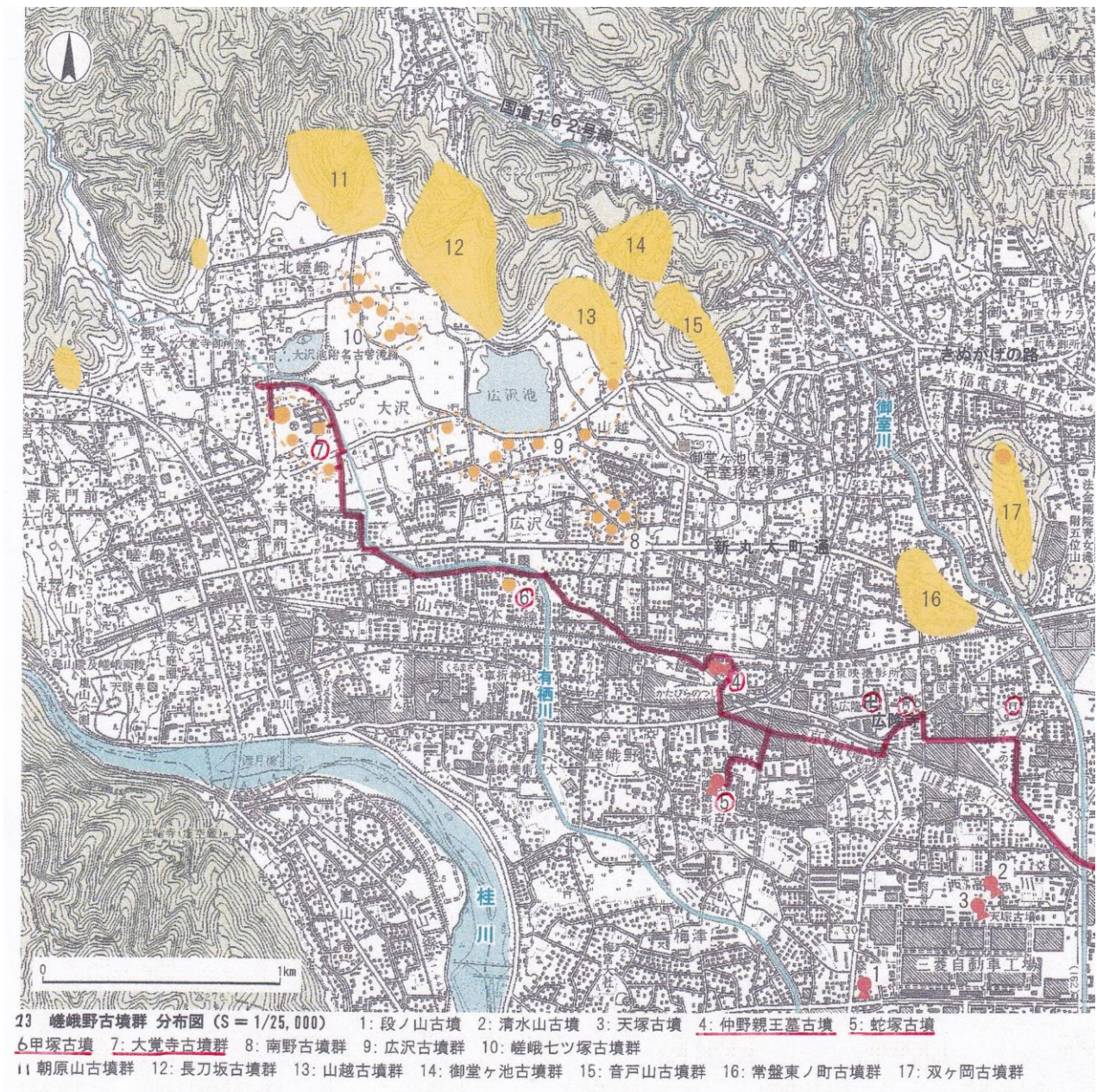


図2 嵯峨野の古墳群分布図



図3 円山古墳 (左: 石室入口・右: 石室と石棺)



図4 南天塚古墳石室

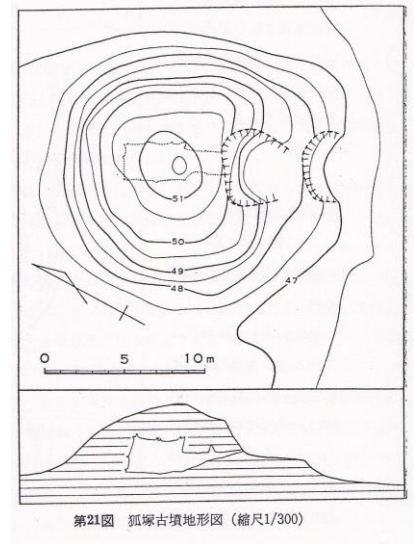


図5 狐塚古墳墳丘測量図

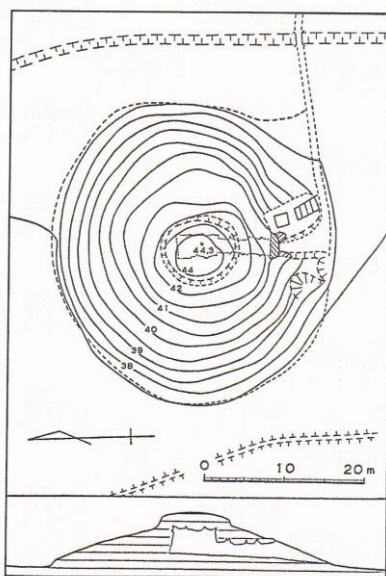
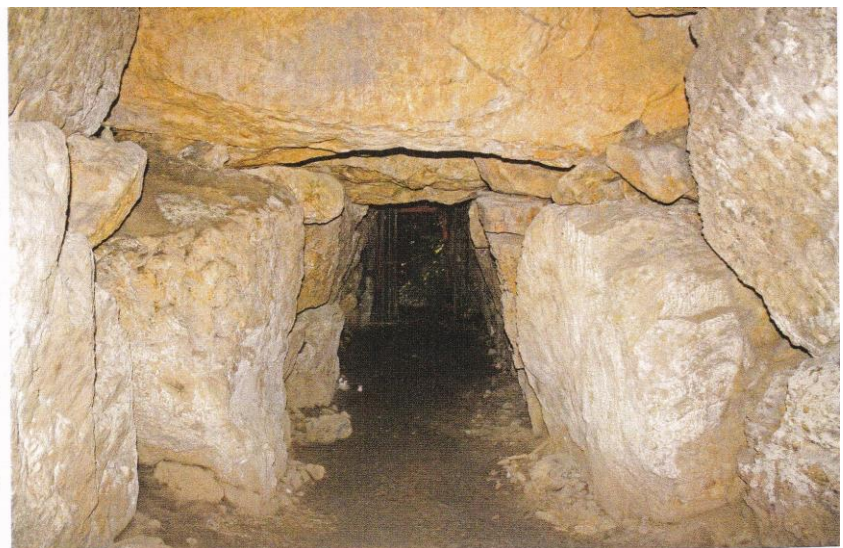


図6 甲塚古墳墳丘測量図



151 甲塚古墳 横穴式石室 (玄室から羨道をみる)

図7 甲塚古墳石室

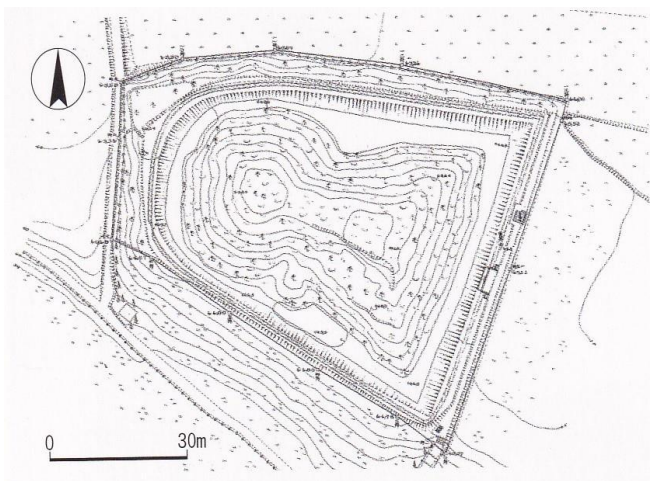


図8 垂箕山古墳(仲野親王陵古墳)測量図



図9 上ノ段町遺跡 (蜂ヶ岡中学校内)



図10 蛇塚古墳墳丘復元図

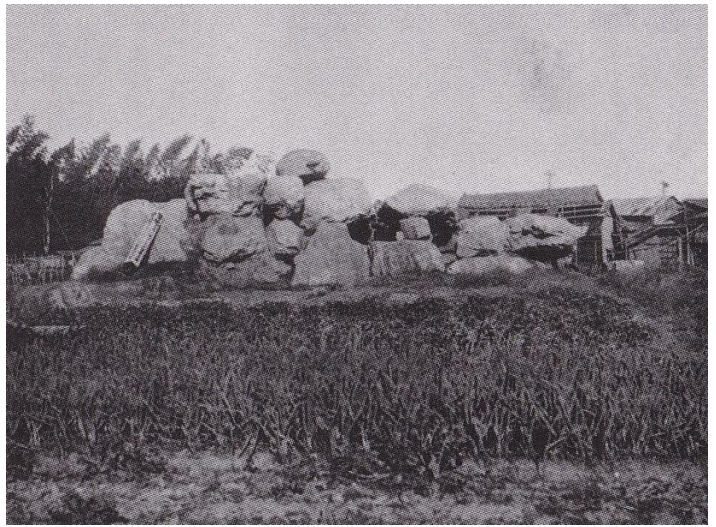


図11 蛇塚古墳（昭和11年）

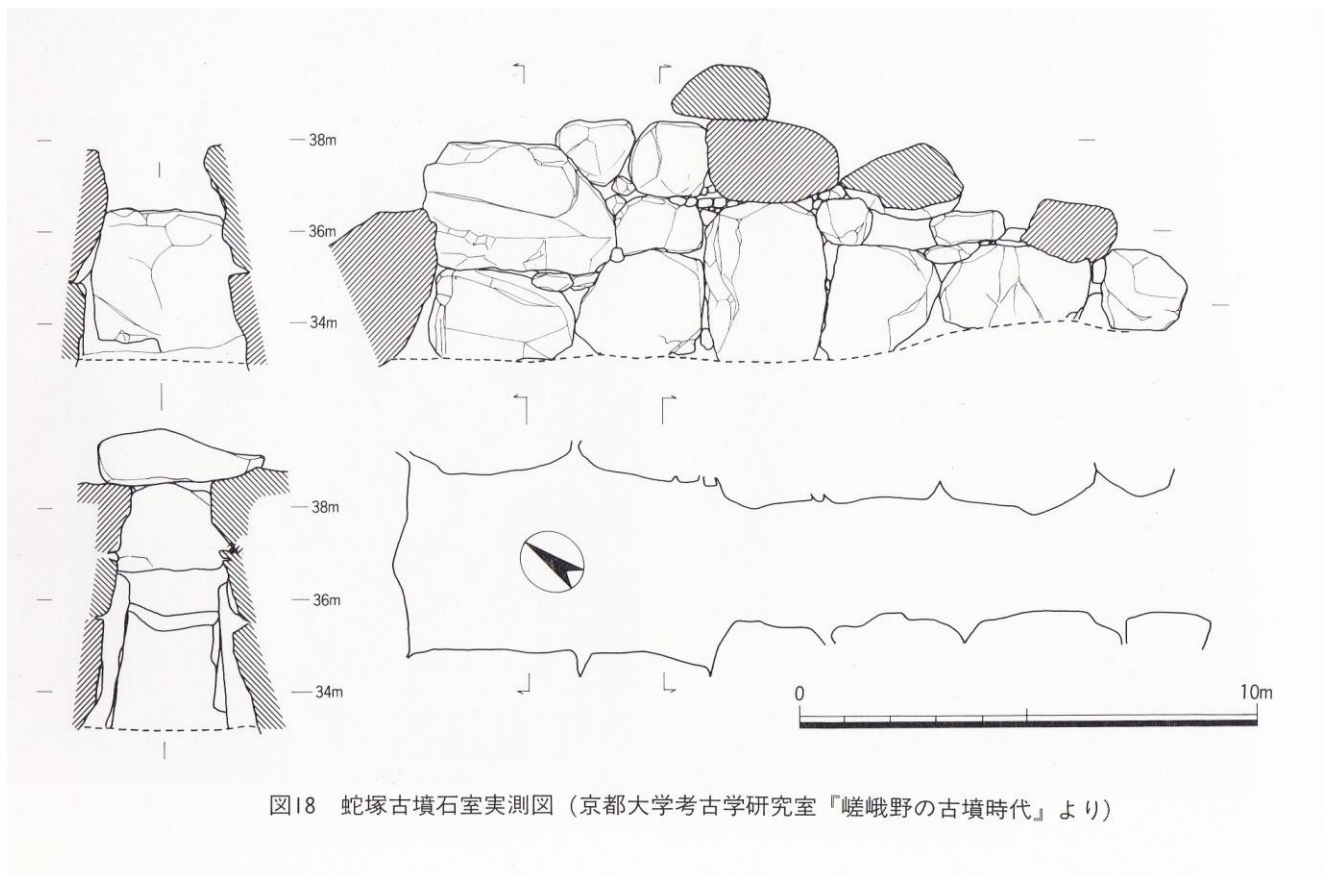


図18 蛇塚古墳石室実測図（京都大学考古学研究室『嵯峨野の古墳時代』より）

図12 蛇塚古墳石室実測図



図13 広隆寺旧境内（広隆寺霊宝館）



図14 広隆寺出土瓦



図15 蚕の社（木嶋坐天照御魂神社）

主な参考文献

- 『京都の歴史 1 平安の新京』 学藝書林 1970年
- 『嵯峨野の古墳時代』 京都大学考古学研究会 1971年
- 『史料 京都の歴史 2 考古』 平凡社 1983年
- 和田晴吾「嵯峨野古墳群－考古学から見た洛西－」『洛西探訪』 淡交社 1990年
- 『山背の古墳』 京都市文化観光局文化部文化財保護課 1991年
- 『平安京提要』 角川書店 1994年
- 丸川義広「松尾山の群集墳」『研究紀要』 4 （財）京都市埋蔵文化財研究所 1998年
- 堀大輔『飛鳥・白鳳の薨～京都市の古代寺院～』 京都市 2010年
- 宇野隆志『平安京以前－古墳が造られた時代－』 京都市文化市民局 2012年
- 『文化財と遺跡を歩く 京都歴史散策ガイドブック』 京都市 2014年

出典

- 図1～8・10～12（宇野 2012）
- 図9・13（京都市埋蔵文化財研究所調査）
- 図14（堀 2010）